

萩 ネットワーク

第9号 1996年5月

発行：萩ネットワーク協会

〒758 山口県萩市大字江向510 萩市役所広報課内

TEL 0838-25-3131 FAX 0838-26-5458

城下町のあっちこちで鯉幟が、五月晴れの空に勢いよく泳いでいる。土塀と夏みかん、そして鯉幟は萩ならではの風景ではなからうか。

この鯉、中国の黄河上流に竜門という急流があり、これを登るこ

天高く舞う鯉のぼり

とができた鯉は龍と化かすという言い伝えがある。鯉は、滝を登る魚、困難を克服して立身出世する魚と考えられていた。写真の鯉幟にも、子どもの健やかな成長を願う親御さんの願いが込められているのであろうか。

土塀と夏みかんと

鯉のぼり



目次

第6回萩焼まつり、お得なツアー	2
ズームアップ（山城精機社長・堀信夫氏）、浦上記念館、パールライフ萩在宅生活支援センター	3
特集・史跡散歩（萩城跡は歴史遺産の宝庫）、ブラジルへサッカー留学、私の発見イン萩	4～5
頑張っています漫画家・佐伯かよのさん、新鮮な魚料理でもてなし、手作りステンドグラス	6
社長インタビュー（金優氏）、偉人伝、私のお店、松陰大橋	7
情報アラカルト	8

土と炎の生命が

織りなす陶芸の祭典

第6回萩焼まつり

とき 5月1日（水）～5月5日（日）

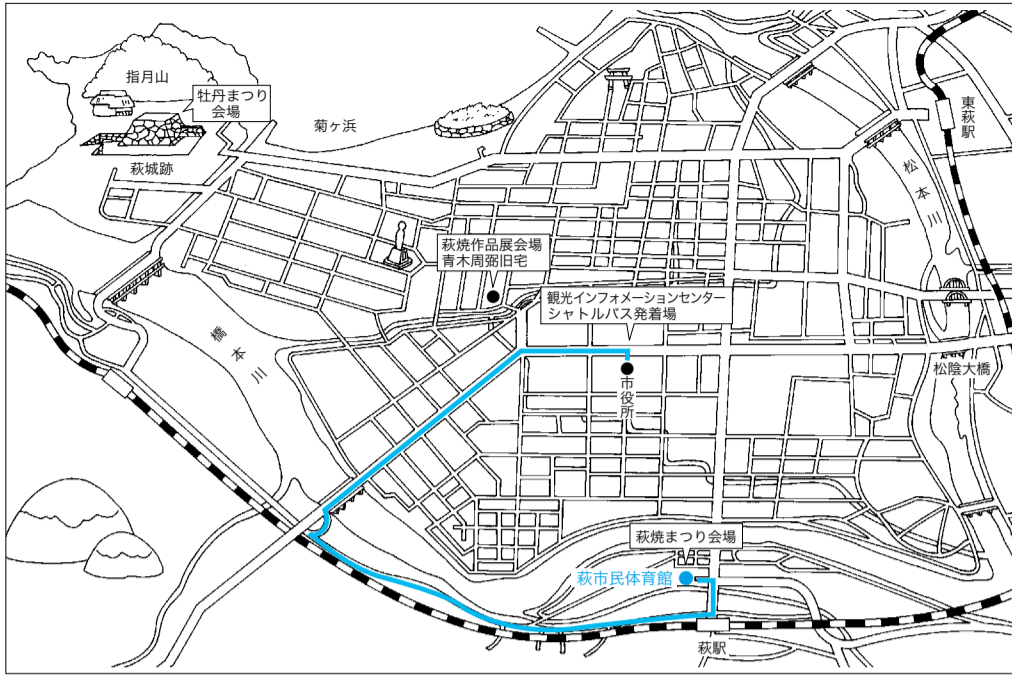
ところ 萩市民体育館

内容 萩焼即売会（萩焼窯元販売店44店による萩焼の大即売会）、萩焼ろくろ体験、萩特産品即売会他

*5月3日から5日までは、会場へのシャトルバスが運行されています。

問い合わせ 萩市観光協会（0838・25・1750）へ

本紙2Pに関連記事を掲載。



「ゴールデンウィークの萩」は、おもしろい。期間中、恒例の「萩焼まつり」、また新しく「牡丹まつり」なども協賛行事として開催予定だ。是非、家族揃って足を運ばれることをお薦めしたい。

土と生命の炎が織りなす陶芸の祭典 萩焼まつり



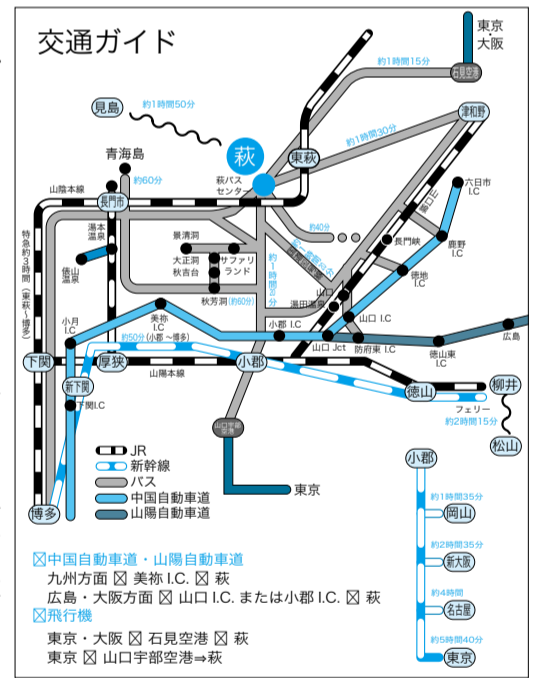
〔萩焼まつり〕
昭和40年代、全国的に萩が観光ブームの渦中にあった時代、同時に大きくクローズアップされ、全国的にも注目されたのが「萩焼」。その萩焼について、「もともと多くの人に、普通の家庭の中で利用してほしい」と願っていたのは、実は萩市民であったに違いない。そうした思いの中から、機械製造による湯呑みや茶碗が全国にデイスカウトしながら流出し、食卓に並ぶ機会も増えたと聞く。

今年、第6回目を迎える「萩焼まつり」。全国から多くの観光客が高価な茶碗や家庭で使う湯呑を求めてに訪れるであろう。さて、今年の萩焼まつりの内容は、如何に。とき 5月1日(水)から5日(日)まで。午前9時から午後5時までで、5日のみ午後4時まで。ところ 萩市民体育館(みどりこ)

萩焼窯元・販売店44店がずらり並び、大即売会を開催。また、初日の開幕式では、ゲスト作家による口吹口実演による作陶も披露。このほか、期間中一般来場者にも口吹体験コーナー(有料)が設けられ、自作の萩焼も楽しめる。(盛りだくさんの場内イベント)

会場は、国道262号山口市方面から入る道筋で、市内の玄関口とも言える場所(上記市内略図参照)。萩有料道路料金所を出て約5分。交差点で真正面に見えるのが、主会場の「萩市民体育館」。なお、3日から5日までの間は、市役所前駐車場からシャトルバス(交通)

萩焼と並ぶ萩の特産品と言えば、海産物。当日、海産加工品を中心とした即売会も開催。また、呈茶席や飲食コーナーも開設する。(当日イベント情報)
当日の観光情報発信センターとして、観光インフォメーションセンターが市役所前庭に開設される。市内の観光地情報はもとより、案内図、パンフレットなども用意される。



市内有名作家陶家11人による作品展。この作品展を更に引き立ててくれるのが会場となる「青木周弼旧宅」(略図参照)。今年2月から一般公開されているこの文化的遺産、見る人の心を引きつけるのは会場、それともやはり萩焼?

〔萩焼作品展〕
とき 5月3日(金)から5日(日)まで
ところ 指月公園
内容 大根島(島根県)直送の牡丹の即売会。郷土芸能披露、呈茶席など

〔牡丹まつり〕
とき 5月3日(金)から5日(日)まで
ところ 指月公園
内容 大根島(島根県)直送の牡丹の即売会。郷土芸能披露、呈茶席など

協賛イベント、いっぱい
萩城跡・指月公園内に咲き乱れる牡丹600本。今年、初めてお目見えのイベント。「萩・花ごよみ」の関連行事として開催される。

エアニッポンで巡る 萩 2日3日

特典 周遊バス乗車券 萩・津和野ナビゲーションマップ 萩焼窯元割引券

コース	1室ご利用人数	日~木曜出発	金・土曜出発
2日コース	3~4名	21,800円	27,800円
	2名	23,800円	29,800円
3日コース	3~4名	29,800円	37,800円
	2名	33,800円	41,800円

●出発日 '96年4月15日~7月20日の毎日出発(但し、4/26~5/6は)

日程	行	程
1	1	羽田空港 エアニッポン(8:45頃発) (10:15頃着) 石見空港 貸切周遊バス(10:45発) (東萩駅・秋吉台・秋芳洞(昼食) 東萩駅) (16:00着) (各自負担) ホテル(萩)
-	2	終日フリータイム
2	3	ホテル(各自負担) 東萩駅 貸切周遊バス(10:30発) (津和野(約2時間)・石見特産品センター・石見空港) (15:30着) エアニッポン(16:50頃発) (18:15頃着) 羽田空港

ご案内
① 2名様以上でお申し込み下さい。
② 宿泊ホテルはA・B・Cよりお選び下さい。
A 楽天池(2日:SH1232, 3日:SH1233)
B 萩観光ホテル(2日:SH1234, 3日:SH1235)
C 萩グランドホテル(2日:SH1236, 3日:SH1237)
③ 貸切周遊バスは予約制となります。ご利用にならない場合、又、ご利用日を変更される場合は必ず事前にご連絡下さい。

お問い合わせ・お申し込みは 全日空スカイホリデー予約・案内センターへ 03-5493-8600

ご購入先カウンター
① 全日空東京支店スカイホリデーカウンター
② 全日空新宿カウンター
③ 東京全日空ホテルトラベルセンター
※ご購入は①~③のカウンターにご来店の上、現金のみの取り扱いとなりますので予めご了承下さい。

夜行高速バス カルスト号

萩 ⇄ 大阪

バスセンター	高速道	近鉄 なんば西口 (OCATビル)	あべの橋	上本町
20:35 発		6:00 着	6:25 着	6:42 着
8:35 着		23:12 発	22:57 発	22:40 発

運賃

	萩	秋芳洞	大田中央	山口・防府・徳山	熊毛	玖珂	岩国	大阪 (近鉄なんばあべの橋上本町)
片道	9,300円	8,900円	8,800円	7,600円	7,300円	7,100円	6,800円	大阪 (近鉄なんばあべの橋上本町)
往復	16,700円			13,600円	13,100円	12,800円	12,200円	

※子ども運賃は半額

●電話予約・お問い合わせは 防長高速バス予約センター TEL. 0834-32-7733 (受付時間/9:00~18:00)
近鉄高速バスセンター TEL. 06-772-1631 (受付時間/9:00~18:00)

歴史のまちに新たな伝統美術の殿堂

山口県立萩美術館・浦上記念館

萩市平安古（市民球場西隣）に山口県が建設を進めていた山口県立萩美術館・浦上記念館が完成し、5月24日に竣工式が行われる。竣工式には、浦上敏朗氏や野村萩市長平井山口県知事、など多くの関係者が出席することになっている。

この美術館は浦上敏朗氏寄贈の浮世絵や陶磁器といった世界でも屈指の美術品を収蔵する美術館となる。

建物は、城下町特有の鍵状に道が曲がる鍵曲がりなどの要素や、外壁に御影石を施すなど城下町萩のイメージにマッチしたものと

なっている。

内部は、浮世絵、東洋陶磁器の展示室、企画展示室の展示部門、講演・講座ができる部屋のほか豊かな美術環境を創出する喫茶店・ミュージアムショップがある。建物面積は、1万7155平方メートルとなっている。

現在は、美術館建設には欠くことのできない施設内部の乾燥期間に入っているため、今秋10月14日に開館することになっているが、美術館周辺には外灯が設置されており、夜になると建物がライトアップされ萩の夜に花を添えてくれる。

今秋には、開館記念特別展を開催。

開館後は「山陰浮世絵ルート」の一翼を担う広域回遊の拠点の一つとなり萩観光の活性化に大きく役立つほか、萩地域の文化振興に寄与するものとしても期待されており、様々な展示等が企画されている。

● 竣工式
とき 平成8年5月24日（金）午前11時
ところ 萩市平安古 山口県立萩美術館・浦上記念館

● 一般公開
今回の完成を受けて、次のとおり施設の一般公開がこなされる。
5月25日・26日の午前10時から午後3時まで
10月14日の開館にあわせ

● 「山形省文物展」
とき 平成9年1月5日から3月下旬

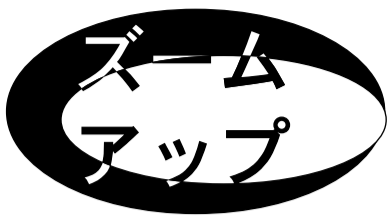
● 内容 東洋陶磁史上で重要な文化が栄えた山形省で新たに発見された考古美術品（新石器・漢）を主体に展示

● 内容 東洋陶磁史上で重要な文化が栄えた山形省で新たに発見された考古美術品（新石器・漢）を主体に展示

● 内容 東洋陶磁史上で重要な文化が栄えた山形省で新たに発見された考古美術品（新石器・漢）を主体に展示



ライトアップされた山口県立萩美術館・浦上記念館



株式会社 山城精機製作所
代表取締役 堀 信夫氏

プラスチック成型機メーカー山城精機。山口県阿武郡阿武町惣郷出身の堀勇夫（故人）氏が設立、今年創業40周年を迎える。萩市にも工場を構え、Uターンの受け皿として大きな役割を果たす。今は、子息の堀信夫氏が代表取締役社長を務める。

「父・勇夫は阿武町惣郷の御山神社の神主の四男として出生しましたが、私自身は東京生まれの茨城県勝田市（現在のひたちなか市）育ちです。鉄道で旅行するのが好きだったため、高校時代から一人でよく萩に旅

行にきていました。また、萩の歴史や地理に関心がありましたから」と、笑顔で話される。

昭和47年、萩に工場を建設。「萩への工場進出は、先代社長が当時の菊屋市長や水岡商工会議所会頭からUターンの受け皿を作ってほしいとの勧誘を受け実現したものです。昭和52年6月に父が亡くなり、会社を引き継ぎました」

現在、萩工場はプラスチック成型機の3分の2を作る主力工場となっている。

萩について
仕事の関係上、年10回は萩に来ています。お客様を招待することもありますが、萩の観光客の対応をみる

と、歴史的文化的遺産や一時の観光ブームで、全国から人が萩市に来るのが当たり前、過去のものにすがっているという感じがしますね。史跡観光地は、一度来ればいいという宿命的なものがあり、リピート率を上げるのはむづかしいことだと思います。

世代も代わり価値観も変わっているの、新たな観光

新しい観光を創出し、活性化をめざしてほしい

光マーケティングが必要ではないでしょうか。それがリピート率を上げることにつながると思います。これからの観光・萩の在り方について
都会にはないことをどんなPRしてほしいし、それを期待しています。観光客に、どろくさく、田舎らしく、温かく接することが必要ではないでしょうか。日本海で獲れる新鮮な魚

の刺身が低料金で腹いっぱい食べられることは、魅力そのもので観光の大きなセールスポイントであり、市内の旅館などももっと観光に反映させるべきではないでしょうか。

萩に本物の温泉（萩本陣）があることは、ほとんど知られていません。温泉は日本人にとっては宿泊地としては非常に吸引力があります。

ちな堀内地区の北の総門通りや鍵曲がりを見てもらうこともでき、じっくりと萩の良さを分かっていたらいいのではないのでしょうか。

最後に
若い人が、萩の歴史や地理について知らなすぎると思っています。自分の故郷についてもっと知ってほしい。歴代総理大臣を4人も輩出して、自信と誇りを持ってほしいですね。歴史は根っこであり、歴史を知らないということは根なし草になって立ち枯れしてしまいます。

これからの萩は、若い人が主役となって変わっていくことを期待しています。

株式会社山城精機製作所
本社 埼玉県川口市。プラスチック成型機形成機の業種では国内シェアは50%超。

創業の信条
一 知恵を売る
一 見栄をはらない
一 顧客様と直結する

私の自費出版

ボクの戦中戦後
勝ち抜く僕ら少国民
千田義文さん
（本名・三上義文）

大阪の暮らしかから、疎開した萩市での戦中、戦後の思い出すことも、いわばわが「思い出の記」です。

その思い出を出来る限り今日の僕の視点からではなく、当時の子供心に受け止めたままを記したいと心がけました。決し



三上義文さん

ふるさとに残した親が気になる・・・
そんなあなたはお気軽に相談を

留守宅のホームヘルプ

皆さんは、パルライフ萩在宅生活支援センターをご存じですか。

ふるさとに残した親御さんの健康や毎日の暮らしを気にしている人も多いでしょう。何かの時には、パルライフ萩のホームヘルプサービスを利用してくださ

ひとり暮らしや寝たきりなど、日常生活に支障のあるお年寄りの家庭は食事、入浴、通院などの介護、また買い物、洗濯、掃除、調理などの家事についてのホームヘルプサービスを受けることができます。

福祉事務所が行う公的サービスの利用料金は所得に応じて一時間当たり250円から900円で、低所得者は無料です。

公的サービスを受けるには年齢65歳以上とか障害者手帳のある人といった条件があります。

しかし、昨年6月に発足したパルライフ萩在宅生

活支援センターに頼めば年齢や資格に制限が無く、誰でも公的サービスと同じ内容の在宅ケアサービスを受けることができます。

こちらの料金は、一律に一時間当たり昼間の家事が850円、介護1150円、夜間は家事1050円、介護1450円となっています。

パルライフ萩は、萩市内だけでなく旭、川上、福栄、阿武の隣接町村までヘルパーを派遣します。

ふるさとの家族のお世話について気になることがあれば気軽にパルライフ協会（0838・266・6488）に相談してください。

なおパルライフ萩では、活動を支援する賛助会員を募集しています。

個人年会費 一口2000円
法人年会費 一口5000円

史跡散歩

萩城跡あたりを

歩いてみると

北の総門付近から三の丸に向かった。まず、見えてくるのが外堀だ。

外堀 ①

当初は幅20間(約40メートル)もあった!

城下と三の丸は外堀によって分けられていた。城下から三の丸に入れるのは北、中、南の総門の3か所のみであった。城下町絵図によると、外堀は20間幅で三の丸の東と南側に逆L字に掘られ、その端は海、川に接していた。その後東側の堀については堀幅の変遷が見られる。17世紀初期には外堀の東側に町家が拡大し、次第に堀が狭まり幅14間となり、その後更に8間になった。明治までは8間であったが、次第に宅地や畑となり現在の様に4×7メートルとなった。この堀の8間であった当時の堀を復元するため、用地買収と調査が進められている。



①外堀

萩市に数多くの歴史的遺産が残っていることは周知の事実である。特に、毛利輝元によって築城された萩城の城郭は史跡萩城跡として指定され、今も当時の規模をうかがうことができる。指月山頂に要害(詰丸)を、山麓に本丸、二の丸、三の丸を設けた。これは、萩の自然的条件を巧みに利用した城郭配置が成されており、いわゆる堅城といわれる。萩出身の方なら一度は眺め、通ったことのある萩城跡を散策してみた。

三の丸に入ると藩政当時の建物が道路沿いに3棟建っている。なかなか雰囲気のある通りだ。この通りを北の総門通と言い、現在は

は国選定の伝統的建造物群保存地区となっているが、それまでは国指定史跡であった道だという。



②北の総門通

北の総門通 ②

武家屋敷の雰囲気をよく残す

三の丸の最も北に位置し、外堀から天樹院に至る通りである。街路沿いの屋敷割は旧状をよく留め、多くは夏蜜柑畑となっており、築地塀やその土台石や生け垣が連なる。この通りには、益田氏物見矢倉、繁沢家長屋門、周布家長屋門等の一部が残り、藩政時代をうかがわせる歴史的景観を見ることが出来る。

北の総門通の途中を左に折れて、しばらくすると非常に長い白壁が現れる。

問田益田氏旧宅土塀 ③

白壁の延長がなんと231.7メートル

本丁と三の丸中央で交差する所にある延長231.7メートルの白壁。宅地開発によって堀内地区の広大な土地は細分化され、それに伴い周囲を区画していた土塀も寸断されていった。この土塀は上級家臣の住居地を取り囲んでいた往時の姿を最もよく留めている。藩政時代、この一帯の塀壁はすべて白壁で天気の良い日にはまばゆいほどであったといわれる。

右に高さ2メートルある白壁をみながら進む。左の崩れかけた土塀から黄色い夏みかんの色がぞくぞく。思わず口の中が酸っぱく感じられた。五月中旬頃には白い花をつけ、このあたりは甘酸っぱい香りに包まれるだろうなど思いながら歩く。道が交差する左に、指月中



築城当時の萩城配置図

御成道 ④

道幅は2倍あったメインストリート

三の丸であった堀内地区

学校、右には萩高等学校がある。この道幅は昔はもっと広く殿様が通っていた御成道だったとか。

は、主に上級家臣の住居のあった所である。その中央部を東西に横断する街路が本丁という。御成道とも呼ばれ藩主の参勤の時の通行路ともなった、いわばメインストリートとなるものであった。その道幅は現在の2倍ぐらいあったといわれ、それを裏付ける土塀も遺存している。城下町絵図



③問田益田氏旧宅土塀

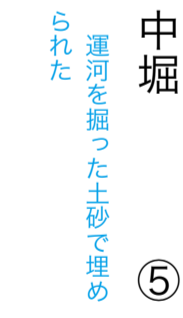


④御成道

中堀 ⑤

運河を掘った土砂で埋められた

にも三の丸のほかの街路よりも幅広く描かれている。指月中、萩高校に通学した人にも思い出される道の一つである。萩高校のグラウンド横を過ぎると、野球場に突き当たる。これを右折し、さらに天樹院を左折すると、疎水が左右に走る。これに架かる指月橋を渡ると、右手に萩城二の丸の石垣が見えてくる。ここは、今は埋められているが、中堀があったとか。



僕の夢はJリーガーです。

若い青年が、Jリーガーをめざして、本場ブラジルにサッカー留学する。郷土出身者がJリーグで活躍する姿を、近いうちにテレビで見ることが出来るかもしれない。

本場ブラジルへサッカー留学



前列右から3番目が田村卓己さん

萩市青海の田村卓己(18歳)さんが、ブラジルにサッカー留学する。

田村さんは、今春県立山口高校を卒業したばかりである。高校時代は、1年生からレギュラーとして、また山口県代表として活躍する。3年生のときには、山口県選抜に選ばれ国体へも出場する。「全国大会への出場を夢に、県内でも1、2の強豪山口高校へ進学しました。残念ながら出場は出来ませんでした。今度はJリーガーを目標にブラジルへサッカー留学することになりました」と、父親の田村己利(44歳)さん。

「留学の話聞いたときは、家族は反対しましたよ。しかし、本人の本場で技術・精神面を鍛えたいという強い意思に負けました。」

サッカーとの出会いは、明倫小学校3年生の時に明倫小サッカースポーツ少年団に入団したのが始まりで、ミドルフォワードとして頑張る。萩第一中学校でもサッカー部に所属し、フォワード、ミドルフォワードとして活躍する。サッカーを始めたときから、俊足で機敏な動きは注目を集めていた。また、

高校時代の遠征試合では、現横浜マリノスのGK川口選手や名古屋グランパスの小倉選手との試合経験もあり、卓己さんのサッカー意欲をますます高めたようである。

ブラジルでの留学先は、サンパウロから約300キロ離れたマリリア市にあるマリリア日系文化体育協会サッカースクールである。寮生活をしながら本場の技術を学びプロを目指すことになる。3年間でプロになれる場合は在籍できないということ、厳しい環境である。

卓己さんは、身長170センチと体格的には決して恵まれていないが、俊足で機敏な動きとガッツでプロを目指す。萩市から初のJリーガー誕生も近いのではないかと。

「行くからには、健康に気をつけて頑張ってほしい。家族も遠く離れた萩の地から応援しています」と、父・田村己利さん。



田村己利さん

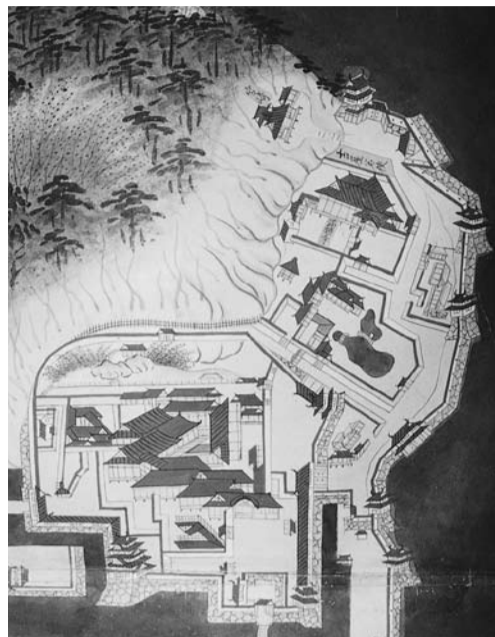
慶安5年城下町絵図によると、二の丸の南側は幅16間の中堀が巡り、北側は内堀に接し、東側と西側は海に面している。東北部地区と西部地区とは、それぞれ石垣を伴った練堀で区画されていた。大正13年(1924)に萩城跡の南東側に掘られた運河(疎水)の土砂によって埋められ、現在は畑地、宅地となっている。

中堀跡を通り、蛇行した道を行くと、内堀と整然と積み上げられた本丸の石垣に出会う。左方には武者返しと言われる見事な曲線を作り組まれた天守台も見える。眼鏡橋を渡り本丸に入ると、先ず目に入るのが志都岐神社の大鳥居である。一帯は、さながら自然公園といった感じである。

本丸御殿

豪華な御殿や大奥の部屋もあった!

本丸の中心部分に萩藩の政庁であり、藩主の居館でもあった本丸御殿があり、本丸空間の大部分を占めていた。東側には大番所や記録所などの藩の諸役所、中



⑥⑦本丸御殿と東園が描かれた絵図

東園

御茶屋からの眺めに殿様もホッとされた?

指月公園の奥に池があるが、この辺りを散策したところのある人もあると思う。ここは東園のあったところで、城下町絵図には「御茶屋」と記載され、2つの橋が架かった池と西側には数



⑥本丸御殿跡



⑦東園跡

棟の建物が描かれている。ここでは、本来参勤の無事や安産を祈願する祭祀や藩主やその宗族などがくつろぐ場所として利用されていた。池はほぼ当時のままの形状で残っているが、御茶屋跡は整地され牡丹園となっている。

指月山は高さ150メートル近くあるはず。ちよつと元気をだして登ってみるとする。結構きついが登山道は整備してあり登りやすい。うっすら汗をかいたくらいで頂上へ到着。北側は木々の間から海を、南側は市内を見渡せる。日本海から吹く風が心地よい。

要害

ここにも「本丸」「二の丸」

要害は指月山頂にある。中央を南北に走る練り堀に



⑧要害絵図



⑨西の浜

西の浜

昔は海。今は市民憩いの

登りに比べ、下りは楽々。あつと言間に登山口へ着いた。そこから内堀の外沿いに歩いていくと、敷きつめられた緑の芝生のなかに白い石の彫刻が並ぶ。

公園

以前はあまり人が近づけなかつた所である。萩城築城当時は海であった。昭和56年世界から集まった石彫芸術家によって開催された国際彫刻シンポジウムによって、石彫公園としてよみがえった。背景の指月山、石垣、天守台と調和した公園は、子供連れの家族や、恋人同士、観光客の憩いの場となっている。

こうして、あらためて歩いてみると、萩には歴史を感じさせる場所の多いことを再認識させられる。今回通った通りには、紹介しきれない歴史的遺産がまだまだたくさんあることは皆さんがご存じと思う。是非、自分の足で確かめて歩いてみていただきたい。

築城から270年 その雄姿を消した!

慶長5年(1600)、関ヶ原の戦いに敗れた毛利輝元は、それまでの中国地方8か国112万石から、周防・長門の2か国36万石に削封された。輝元は、早速城地の選定に取り掛かり、防府の桑山、山口の高嶺、萩の指月山が候補に挙げられたが、幕府と相談した結果、萩に築城することが決定した。

築城工事は慶長9年(1604)に開始されたが、城や町の建設に当たっては、まず湿地帯の埋め立てや竹木の伐採から始めなければならなかった。その後、城の縄張りが行われたが、最初は指月山頂の要害から始められた。同年6月には指月山麓の縄張りが起工され、それから4年後の慶長13年に萩城の築城工事は完成した。指月山頂に要害(詰丸)を設置し、山麓部に本丸を中心に二の丸、三の丸を設け、外堀を挟んで城下を配した。萩城の北側は「深海荒津にして舟掛なし」という日本海と、「嶮岨で人馬共に足立無き山地」にまかせ、南側の平地は、萩デルタの東西を分流する松本川・橋本川の自由な徒渉を禁止して、外堀の性格を持たせるなど、萩の自然的条件を巧みに利用することによって見事な城郭配置を構成した。

萩城も文久3年(1863)に藩庁が山口に移されたことにより、259年間にわたった防長両国の政治の中心的役割を終え、衰退の一途をたどるに至った。明治6年(1873)に萩城建物の入札、払い下げが指令され、翌7年、天守閣をはじめ、矢倉・門・武具庫が解体され、築城から270年にして、その雄姿を消した。今は、堀・石垣のみが往時の面影を忍ばせるだけとなった。

私の発見 イン・萩



海がもたらす宝物
行ってみんさい 歩いてみんさい

ビーチコーミング をご存じ?

♪名も知らぬ、遠き島より、流れよるヤシの実一つ♪
いくら萩が「日本一ゴミのないまち」をめざしている、と言ったところで海からゴミは底知れぬ量流れ込んでくる。それを流れていくと眺めるとなかなかに楽しい。ご存じだろうか。波打ち際に溜まったゴミの中にハングル文字の入ったカンやビンが流れ着いたり、ガラスの破片は砂で丸くなって宝石に見えたりすることも。また、それ以外にも数多くの魅力多い物が流れ着くことも...

そんな漂着物を探して観察することを「ビーチコーミング」と言う。方法は、前述のとおり簡単、かつ手軽。干潮時に浜へ行き、満潮時に波打ち際で取り残された漂着物を探す。おっと、言っておきたいが、ただのゴミ探しではない。自然物、人工物など取り混ぜ、実に多種多様な漂着物があり、下を向いて歩いてみるとその楽しさについて夢中になる。気が付く



かも。砂浜に流れ付いたゴミ、それらは長い時間を越えられない程多くの波を越えて漂着したのだ。単なるゴミの概念を捨て「漂着物」としてのドラマを楽しめば、「単なるゴミ」が宝のように見えるかも...

頑張ってます

いつか萩を題材にした作品を



佐伯かよのさん 漫画家
萩市鶴江出身 萩高22期

「日本の漫画はアメリカやフランス、アジア、特に台湾、香港で大ブームと なっています。漫画がきっかけで日本の文化に興味を持ち、日本語の勉強を始める子もいるくらいです」と佐伯さんは世界にファンを持つ女流漫画家である。

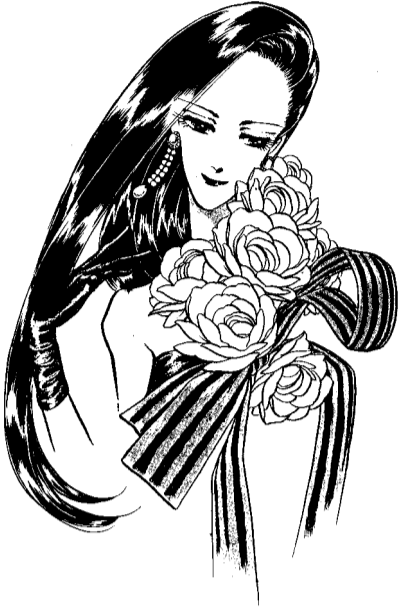
「取り上げられると懐かしさと、何かしら心安らぎますね」と。萩での思い出も漫画の題材の一つになっているようだ。「椿東小学校からの帰り道、キャベツ畑の蝶の卵やおたまじゃくしを取ったこと、中・高生の時、雁島橋の下のシロウオ漁が面白く、陽の暮れるのも忘れて眺めていたこと、冬の人のいない西の浜などの思い出が絵として強く焼きついています」。

「仕事は、メ切に追われて、徹夜で原稿を描くこともしばしば。でも、出来上がった時の解放感と読者からの手紙など反響があったときは、この仕事に就いてよかったと思いますね」。

「香港からの研修生を受け入れていますが、漫画を通しての交流は私自身学ぶものが多く、国際交流の一助にもなればと思います。これからも、自分自身のため、漫画を愛する人達のため、頑張ります」と決意を話される。

この春から、萩のお母さんが上京してこれ、佐伯さんにとってはこのうえない心強い助っ人。ますます、制作意欲を湧かしておられる。

「萩を題材にした作品は、現実的だし、何かテレビもあつてか、なかなか描けないですね」と言われるが、萩の佐伯ファンはそんな作品が読める日をみんな楽しみにしている。



小学館プチコミック「輝姫」より

新鮮な魚料理でもてなし



嫁な喜荘の河村祐治・二見子さん夫妻

民宿・割烹料理 嫁な喜荘

低料金で新鮮な魚料理を食べさせてくれる民宿・割烹料理「嫁な喜荘」。その味には、地元の人にも納得し、足を運ぶ。夫婦二人三脚で心温まるもてなしが、訪れる人を喜ばせる。

萩市越ヶ浜の笠山の麓にある昭和47年開業の民宿・割烹料理の「嫁な喜荘」。オーナーは河村祐治・二見子さん夫妻。海に面して建っており、窓からは日本海が一望でき、すぐ前に海水浴場がある。

この民宿は、料理には自慢の割烹民宿として大変人気がある。主人の祐治さんが元板前ということで、その材料と味付けはお客様に大変喜ばれている。

また、ふぐ料理(要予約)や季節に応じた料理、遠くからのお客様には、萩の名物いとこ煮を出してくれる。地元料理通の人も、嫁な喜の魚料理を味わいに来る人も多いと聞く。また、遠くからのお客様は口込みで来るそうである。



心の風景

年代ははっきりしないが、越ヶ浜小学校の風景。着物姿の生徒たちが、校庭で体操をしている。奥に2階建ての木造校舎が見える。現在の校舎は、昭和54年に建て替えられ鉄筋3階建てである。



全てが手作りのステンドグラス

飾り気のないこじんまりとした店内には、手作りのステンドグラスの自信作が並べられており、訪れた人もしばしば足を止めてしまっている。ここは、山陰本線萩駅近くの萩市濁淵にあるステンドグラス工房「ゆとり」。

「採算は二の次で、お客様においしい萩の魚を味わっていただくことが嫁な喜荘のモットーです」と祐治さんのことばに、奥さんの二見さんも小さくうなずく。夫婦二人三脚の心温まる宿である。

観光萩の玄関口、萩城跡入口の指月橋袂になかなか面白い店がある。ご存じだろうか。最近、修学旅行生を中心に静かなブームを呼んでいるのが、夏みかんで作られた工芸品である。ここは、市内でダイダイ酢を作る会社と言えは知る人ぞ知る「株式会社カネシロ」の社長金優さんの経営する工房で、その名も「萩夏みかん工房」。今年で、開設以来5年目を迎える。



夏みかん工房

金優さん

社長

インタビュー

かつての産物「夏みかん」を今に！

商品で日本商工会議所会頭賞をいただきました」と、商品の紹介。実物は、夏みかんの中をくり抜き、皮部分を特殊加工液により硬めたもので、本来の夏みかんの感触と雰囲気を楽しめるという代物。中央部に絵付けを施したのもありかつ抹茶茶碗も手掛けたこともあるとか。なかなかしゃれた感じの工芸品である。

業では県下でも有数の業績を誇る。「この工房を始めの理由の一つに、女性の自立を支援したい、ということがありましてね。それと、こうした細かな作業は根気のいる仕事ですから。あとは、女性の感性を生かせる場だと思っていました。それが萩の特産物となれば嬉しいですね」と萩への思い入れも、人一倍強い。

萩とともに」と、いうところにあるようだ。萩夏みかん工房・萩市堀内124-14(0838-222-8411)。年中無休。希望の方は、自分で制作や絵付けも体験できる。ただし、制作の場合は2時間程度必要。



松陰大橋 完成祝い 渡り初め

松陰神社が、近くになった

「観光・萩」の大きな課題として、城下町特有の道路幅の狭さ、交差する路地

の多さなど交通面での整備が掲げられていたが、新たにその一つが解消された。今回、整備されたのは、国道191号バイパスの900メートルで、観光の要所、松陰神社や東光寺などに通ずる道、島根県の津和野町に至る路線「主要県道萩篠生線」に沿う形で完成したのが、それである。

この新ルートについては、これまで紹介してきたので概要については略させていただきますが、何と云ってもこの路線のメインはバイパス部分の約3分の1を占める阿武川の支流松本川とJR山陰本線を高架で跨ぐ「松陰大橋」(一般から名称



私のお店

東京都港区新橋

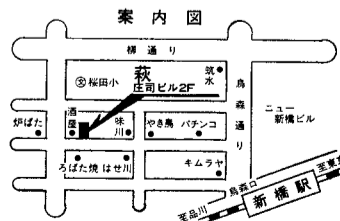
おいでませ

唄スナック 萩

近藤 利江さん (萩市大井出身)

東京都港区新橋3-18-4庄司ビル2F ☎03-3433-2333

昨年、念願の「萩」の店を出しました。店内は萩の観光ポスターで飾り、萩の観光パンフレットも置き、萩のイメージアップに協力しています。料理は手作り、萩から魚や蒲鉾を取り寄せています。飲んで、歌って、食べて、お一人様、5000円程度です。店の看板を見て、萩出身者を始めとする山口県出身者が多数来られます。是非一度お気軽にご来店の上、「萩の味」「萩の話題」で、新橋の夜をお楽しみください。



偉人伝



造幣局長 遠藤謹助

1836～1893年

天保7年(1836)萩城下(平安古と思われる)で長州藩大組の家に生まれた。文久3年(1863)5月、井上馨(のち外務大臣)、伊藤博文(のち総理大臣)、井上勝(のち鉄道庁長官)、山尾庸三(のち工部卿)らと英国のロンドンに密航、留学した。この

時の渡航費5千両もの費用は、藩にとつては一大出費であるが、彼らは「この金は飲食などに使うのではない。生きた器械を購入するもの」と思ってくれ」と藩の重役に書き送った。果して維新後、明治新政府のもとで彼ら密航5人組が工部省の重職を掌握し、近代日本の科学技術の進展を指導する、まさしく「生きた器械」となった。彼らが密航した同月、長州藩は関門海峡で外国艦船を砲撃、攘夷を実行に移した。攘夷実行の最中、長州藩が鎖国という国禁を犯してまで敢えて彼ら5人を英国に密航させたのは、時代を見通した先見性であった。

親・元徳父子の会見に際し、応接係を命じられた。両者の会見は三田尻(現在、防府市)で行われ、謹助は警とともに通訳として歴史的な会見に臨んだ。この会見によって、長州藩と英国との関係はますます親密の度を深め、謹助と馨はそのまま英艦に乗り込み、京阪の情勢を視察するとともに、

大阪造幣局の桜の通り抜けを提唱

維新後、謹助は明治14年(1881)から26年まで造幣局長をつとめた。当時、造幣局は化学・冶金学など西洋科学の粋を集めた総合工場であり、外国人技術者も雇用していた。謹助が英国留学で修得した科学知識など、幅広い教養が必要とされたのである。創設当初、造幣局では外国人技術者の雇用は、英国の東洋銀行が任免権を持ち、給与は日本政府が負担するという不平等な契約であった。当時大蔵大臣であった謹助は、明治7年東洋銀行との契約の破棄、外国人技術者の政府直備などを建議し、日本国の造幣局として自主性の回復に尽力した。また、造幣局長時代の明治16年には、造幣局内の桜並木を「局員だけの花見では勿体ない。大阪市民と共に楽しもうではないか」と提



大阪造幣局にある遠藤謹助の碑

唱し、以来今日まで「通り抜けの桜」として大阪の春を告げる風物誌となっている。これも、謹助が英国で身につけたデモクラティックな一面を示すものである。現在、造幣局構内にある通り抜けの由来を記した碑には、謹助の銅板レリーフの胸像がはめこまれている。

(参考文献) 末松謙澄「防長回天史」 井上馨侯伝記編集会「世外井上公伝」 春政公追頌会「伊藤博文伝」 大蔵省造幣局「造幣局八十年史」 大蔵省造幣局「造幣局百年史」 道家達将「科学と技術の歩み」(岩波書店) (文は萩市郷土博物館学芸員 樋口尚樹さん)



3代夫婦による渡り初め

情報アラカルト

東北地区

◆山陰の味と技祭

萩からも萩焼や特産品が出品されます。ふるさとの香りに触れてみてはいかが。

と き 6月26日(水)～7月1日(月)

ところ 山形市・大沼百貨店

◆守繁栄徹・徹作陶展

と き 6月5日(水)～6月17日(月)

ところ 青森県八戸市・八戸ビブレ百貨店

関東地区

◆山陰山陽めぐり

萩からも萩焼や特産品が出品されます。

と き 5月14日(火)～5月20日(月)

ところ 東京新宿区・伊勢丹新宿店

◆山陰味と技まつり

萩からも萩焼や特産品が出品されます。

と き 5月31日(金)～6月5日(水)

ところ 茨城県水戸市・水戸京成百貨店

◆おいでませ山口うちわデー

と き 6月7日(金)午後6時～

ところ 東京ドーム

プロ野球公式戦日本ハムーオリックス戦の試合を活用して山口県をPR。当日は、山口県の特産品を先着1000人に無料配布します。また、1万人にラッキーカードによるお楽しみ抽選会があり、航空券、宿泊券がプレゼントされます。

◆第46回日本画1996 新興美術院展覧会(新興展)

萩出身の女性日本画家・内田青虹の日本画が展覧されます。

と き 5月22日(水)～5月30日(木)

ところ 東京上野・東京都美術館

内田青虹 雑誌小説新潮の黒岩重吾の連載小説「女龍王」の挿画、産経新聞の火曜日夕刊文化面で連載されている「宮都の風光」の挿入画を担当。

◆萩焼作家の個展

●現代日本陶彫作家展

萩焼作家・三輪龍作の作品が展示されます。

と き 4月29日(月)～7月4日(木)

ところ 神奈川県箱根市・箱根彫刻の森美術館

●第3回守繁栄徹・徹父子展

と き 5月3日(金)～5月8日(水)

ところ 山梨県甲府市・甲府岡島百貨店

●松野龍司作陶展

と き 5月23日(木)～5月27日(月)

ところ 神奈川県中郡大磯町・大磯倶楽部

●第24回新作陶芸展

萩焼作家・岡田裕、兼田三左工門、厚東建信、坂高麗左衛門、野坂康起、納富晋、波多野善蔵、松村拓夫、三輪栄造、三輪休雪の作品が展示されています。

と き 5月28日(火)～6月2日(日)

ところ 東京都日本橋・三越本店7F

●'96朝日現代クラフト展

萩焼作家・岡田裕、金子信彦、兼田昌尚、中村真一、松野龍司の萩焼作家の作品が出品されます。

と き 6月5日(水)～6月10日(月)

ところ 東京都有楽町・阪急百貨店8F

◆萩光塩学院同窓会関東支部

萩光塩学院関東支部の同窓会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 5月26日(日)午前11時から

ところ 杉並区高円寺・メルセス会修道院

東海地区

◆萩焼作家の個展

●岡田裕作陶展

と き 6月26日(水)～7月1日(月)

ところ 名古屋市・名古屋三越

北陸地区

◆萩焼作家の個展

●「萩の陶芸の今」展

萩焼作家48人の作品が展示されます。

と き 5月1日(水)～7月7日(日)

ところ 福井県越前陶芸村文化交流会館

関西地区

◆萩焼作家の個展

●'96朝日現代クラフト展

萩焼作家・岡田裕、金子信彦、兼田昌尚、中村真一、松野龍司の萩焼作家の作品が出品されます。

と き 5月15日(水)～5月21日(火)

ところ 大阪市梅田・阪急百貨店

●三輪栄造茶碗展

と き 5月29日(水)～6月4日(火)

ところ 大阪市・高島屋

●樋口大桂作陶展

と き 6月13日(木)～6月18日(火)

ところ 大阪市難波千日前・ギャラリー「祥」

◆おいでませ山口へ！山口観光デイ

と き 5月18日(土)午後2時～(雨天の場合は19日に順延)

ところ 阪神甲子園球場

プロ野球公式戦阪神一広島戦の試合を活用して山口県と萩の観光をPR。甘夏かん3000個と観光パンフレット、柳井市の金魚ちょうちん100人分を無料配布。また、抽選券でANKの航空券・宿泊券、JRの旅行券・宿泊券など豪華賞品があたります。

◆第46回日本画1996 新興美術院展覧会(新興展)

萩出身の女性日本画家・内田青虹の日本画が展覧されます。

と き 6月26日(水)～7月3日(水)

ところ 京都市・都市美術館

◆関西からたち会

平成8年度関西からたち会の総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 6月8日(土)午後6時～

ところ 大阪市北区兎我野野町・豆狸(まめだ)

◆たちばな会関西支部

たちばな会関西支部の平成8年度総会を次のとおり開催します。多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 6月9日(日)正午～

ところ 大阪市中心斎橋・大成閣

◆萩商業昭和33年卒業同期会

昭和33年3月に萩商工を卒業した同期会を開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 6月8日(土)・9日(日)

ところ 奈良市・奈良ロイヤルホテル

中国地区

◆萩焼作家の個展

●二人展

萩焼作家・小田光治の作品が展示されます。

と き 5月16日(木)～5月21日(火)

ところ 広島市中区・和楽堂

●第13回萩焼・赤間硯伝統工芸新作展

萩焼作家・岡田裕、兼田佳炎、兼田三左工門、厚東建信、坂高麗左衛門、玉村登陽、止原伸郎、野坂康起、納富晋、波多野善蔵、松村拓夫、三輪栄造、三輪休雪、山影陶道の作品が展示されています。

と き 5月22日(水)～5月27日(月)

ところ 広島市・そごう新館美術画廊

●「陶芸・三輪龍作の世界」

と き 6月5日(水)～6月10日(月)

ところ 岡山市・天満屋6F葺川会館

●個展「三輪龍作新作展」蒼い樹、薫風発表

と き 6月5日(水)～6月10日(月)

ところ 岡山市・天満屋5F美術画廊

九州地区

◆萩焼作家の個展

●高見世清次作陶展

と き 5月7日(火)～5月13日(月)

ところ 鹿児島市・山形屋百貨店

山口地区

◆萩商業昭和14年卒業の同期会

昭和14年3月に萩商業を卒業した同期会を開催しますので、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

と き 5月9日(木)午後6時～

ところ 小郡町・山口グランドホテル

問い合わせ 0838・22・0019(山下)

◆たちばな会阿武町支部発会

たちばな会阿武町支部を新しく発会します。多くの皆さんの参加をお待ちします。現在、阿武町には約130人あまりの卒業生が住んでいます。

と き 6月29日(土)

問い合わせ 時間、場所については08388・2・2163(末若)へ

萩市関係

◆第6回萩焼まつり

観光と焼物のまち・萩の春の一大イベント萩焼まつり。土と生命の炎が織りなす陶芸の祭典へおいでください。

と き 5月1日(水)～5日(日)

ところ 萩市民体育館

内容 萩焼即売会、ろくろ体験、萩特産市など

◆萩焼作品展

萩焼作家11人の作品が展示されています。

と き 4月26日(金)～5月26日(日)

ところ 青木周弼(萩城城下町)

◆萩・夏みかんまつり

この季節、夏みかんの白い花が、白壁や土塀からのぞき、城下町萩も夏みかんの香りで包まれます。

と き 5月12日(日)・19日(日)

ところ 萩城城下町ほか

内容 夏みかん・夏みかん食品の販売ほか

◆山口県立萩美術館・浦上記念館の一般公開

と き 5月25日(土)・26日(日)

ところ 萩市平安古・山口県立萩美術館・浦上記念館

◆萩商業昭和28年卒業同期会

昭和28年3月に萩商業を卒業した同期会を開催しますので、皆さんの参加をお待ちしています。

と き 6月8日(土)午後6時～

ところ 萩市・萩本陣

書籍

◆「或る美術コレクターの生活」 浦上敏朗著 平凡社
浮世絵や東洋陶磁など、時価100億円以上のコレクションを山口県に寄贈した世界的美術コレクター・浦上敏朗さんが、コレクションの来歴と美術界での交遊について語った魅力的なエッセイ集。3月18日発行。定価2600円。

◆「松下村塾と吉田松陰」 古川薫著 新日本教育図書
松下村塾に百人足らずの若者が集まり、吉田松陰という学者のもとで勉学に励んだ。そして、久坂玄瑞・高杉晋作・伊藤博文・山県有朋をはじめ、やがて日本史を展開させる大勢の歴史的人物が巣立った。定価1000円

◆歴史群像シリーズ46
「高杉晋作」幕末長州と松下村塾の俊英 樋口尚樹(萩市郷土博物館学芸員)ほか 学習研究社

学習研究社がシリーズで発行している歴史群像シリーズで、今回は高杉晋作を紹介。晋作のみならず幕末の萩のことが分かりやすく紹介されている。萩市郷土博物館学芸員・樋口尚樹も萩史蹟地図で執筆している。定価1200円

◆「萩の花ごよみ-身近な野の花ウォッチング」 吉松茂著 萩市郷土博物館

萩市やその周辺地域の植物の調査・研究してきものの集大成。なかなか気づかない珍しい植物、萩にしかない植物などが紹介されている。定価1500円(送料別)

問い合わせ 萩市郷土博物館(0838・25・6447)

スタッフ一同、あなたからの情報をお待ちしています。

連絡先 萩ネットワーク協会(0838・25・3131)